

# 南会津教育事務所 令和5年度 学校教育 指導の重点

南会津が目指す教育の基本理念

自立と共生～南会津がつむぐ『南会津ならではの』の学校教育～より

## 自ら学ぶ子供の育成リーフレットを活用した授業実践

### 【要請訪問から見たこと】

自ら学ぶ子供を育成するためには、子供に「委ね・任せ」という教師の姿勢が大切です。要請訪問においては、自ら学ぶ力と互いに学び合える力を育てようという思いを強くもち、教師の「子供を信じて待つ」姿が多く見られました。

大切にしたい「8つのポイント」のうち、何を重点とするのか、自校の学力の実態を分析し、校内で共有を図ることが大切です。域内学力向上担当者等研修会で作成したシートをもとに、次年度の学力向上や授業づくりの具体策を計画していきましょう。



【協働的な学びを目指して】



【ICTは文房具の一つ】

### 【理数教育優秀教員活用事業(コアティーチャー)】

域内の優秀教員(算数・数学、理科)の先生方の授業では、「問いを引き出す力」を育てるために、「子供の学びの姿をイメージする」ことが意識されていました。そして、なぜそうなるのか、調べてみたいと考える自ら学ぶ子供の姿をイメージして授業を構想していました。

また、友達の考えを聞く活動を通して、自分になかった考えに気付く場面も取り入れていました。これが、「アウトプットする場の確保」です。子供の思考を促す、整理する、補い合うといった場を設けるためのタイムマネジメントの重要性が見えてきました。



【具体物をみんなで操作】



【活用育成シートの活用】

## 自己を見つめる道徳科授業の充実へ向けて

### 【道徳教育地区別推進協議会】



【自己を見つめて】

12月7日(木)に南会津中学校で道徳教育地区別推進協議会が開催されました。県教委からの道徳教育についての講義や伝達講習、推進校の研究概要説明、そして、2年生の「友情・信頼」に関する公開授業が行われました。授業では、ICTを活用しながら、事前アンケートの提示やGoogle Jamboardでの意見交流等の工夫があり、話し合いを通して本当の友情とは何かについて考え、伝え合う姿が見られました。



【語り合った事後研究会・講演】

## ～「自己マネジメント能力」の育成に向けて～ キーワードは「繰り返し学ぶ」

### 【体育科・保健体育科の授業充実に向けて】

1月に発行した「自ら学ぶ子供の育成リーフレット補足資料5『体育科・保健体育科の授業づくり』」は、実際に体を動かしたからこそ感じたつまづきや課題を解決していく過程で、心も同時に動かしていく温かな授業づくりの一例を紹介しています。授業というかけがえのない時間を通して、今行っている運動が、自分の心身の健康にどのように役立っているのか、自分のよさや課題は何であるかを見つめさせていく**学びの繰り返し**が、心と体を一体として捉える深い学びに誘う(いざなう)だけでなく、「自己マネジメント能力」の育成につながっていきます。

### 【「自分手帳」の効果的な活用に向けて】

下郷町立江川小学校が、11月30日(木)に福島テルサで開催された「ふくしま教育創造コンソーシアム」において、「自分手帳」の活用事例を発表しました。「自分手帳」を組織的・計画的に**繰り返し使用**しながら、児童自身が心や体の変容を感じ取っていった多数の事例が紹介されました。自己マネジメント能力の育成に果たす「自分手帳」の役割の大きさが、多くの教育関係者に伝達された時間になりました。



【コンソーシアムでの発表】

## 「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進する特別支援教育

### 【卒業後の自立と社会参加を見据えた適切な指導や支援の実施】

高校に通う支援を要する生徒の就労支援について関係機関が連携を図るため、9月13日(水)に地域支援チーム戦略・連携会議を開催しました。域内の高校の特別支援教育コーディネーターが参集し、会津支援学校高等部の取組を参考にしながら、会津障害者就業・生活支援センターふろんていあとの連携について協議を行いました。課題として「自分にどのような進路・就職が適しているか自覚できていない生徒への指導の難しさ」が上がり、**本人が自分の得意・不得意を省みることができる周囲の意図的な働きかけが重要**であると話し合いました。

教師の支援が、先回りの指示や過剰な支援ばかりの“ヘリコプター型指導”に偏ると、子供は自分で考えなくなってしまう。要するに、物事を判断したり、自己理解していく機会を奪ってしまう支援となってしまうのです。小・中学校でも、**卒業後を意識した指導や支援**が行われるようになってきました。今後も、幼保・小・中・高が連携し、自立を見据えた指導と支援ができるよう相談・研修支援の充実を図って参ります。



あれしなさい  
それしちゃう

【先回りの指示や過剰な支援で成長の機会が…】



【第2回地域支援チーム戦略・連携会議での協議】

# 南会津教育事務所 令和5年度 社会教育 推進の重点

南会津が目指す教育の基本理念

自立と共生～南会津がつむぐ『南会津ならではの』の社会教育～より

## ふるさと南会津への誇りと愛着をもち、よりよい社会の実現に貢献する人材の育成

本年度 社会教育課では、家庭教育、地域学校協働活動、読書活動、生涯学習の4つの柱を基に各種事業を展開してきました。

### 家庭教育

「親の学び」の充実に向けた「地域でつながる家庭教育応援事業」の推進



【家庭教育講話(田島二小)】

家庭教育支援南会津の会と連携して域内小学校の就学時健康診断の時に実施しました。保護者同士の学び合いや交流を目的に、今年度はワークショップ形式で学びを深めました。

### 地域学校協働活動

「地域とともにある学校づくり」を踏まえた地域と学校の協働・連携の推進



【地域連携担当教職員等研修会】

文部科学省CS(コミュニティ・スクール)推進員の安齋宏之氏を講師に迎え、新しい時代のCSと地域学校協働活動の一体的推進に係る講演及び熟議の演習を行いました。

### 読書活動

子供たちの豊かな心を育む「読書活動」の推進



【ビブリオバトル会津予選・県大会】

会津予選では出場した8名の高校生が白熱したバトルを繰り広げました。県大会では田島中の細井さんが優勝するなど、日頃の充実した読書活動の成果の一端が垣間見えました。

県や教育事務所の重点施策だけでなく、今年度実施した各種研修会等において参加者の皆さんからいただいたアンケートや要望等の声を踏まえながら、今年度の事業を見直し、次年度に向けて事業の充実を図って参ります。